

③ ろ過か王規施装て ② しごら丸模でにおす海
 (財) 練習帆船教育後援会より案一内の
 「練習船海王丸体験乗船」
 しょくす来係工き関りで王
 おこ年留事るすまに丸
 願と三場で見るす新特
 いに月所あ込特が聞別
 いなまのりみ別、記改
 たりで工まと改海事修
 します王のとり工丸に事
 ます。丸たとま事のてに
 どはめもしがマ周い
 う岩ににた今ス知て
 ぞ瀬九、秋トさて
 よで月海大実ぎれ

いま
 連。で参
 絡昼に加
 先食同希
 を封望
 業用のの
 務意葉方
 課い書は
 たで三月
 0766-82-7084

(雨
 張セbま期天○
 成。六日時
 年三月
 年時、
 は當日
 ○平六〇九
 ○八日〇日日
 ○延頃日土
 に期
 行。
 い延

すすよけ付①
 日の平作
 来けセ
 で成業る
 イル
 '六を帆三にル
 ご年実装月つベ
 加の施ギーイン
 勢活いヤ九
 を動た及日
 おをしひび
 願開まセ土
 い始すイ
 いい。ル
 たたい取二
 ししより〇
 ままい付日

方帆わ
 に船れセ
 接時、イル
 し代多く作
 ましと変の製
 たわボボは
 ララす
 ヌンベ
 セテ
 イイ手
 ルア作
 のの業
 作方で
 りが行

が「いわよ
 行ニゲれり平
 わにンルてボ成
 れ「ゲンきラ四
 ます。セイル
 完成イルア引
 しんへのき
 、グメ皆続
 三ジイ様き
 ブンの、
 一及ア手昨
 引き渡し式
 日オパ縫末

②日等 ごい

訓をで両参ま両
 練練練日加す日
 内習習のく。と
 別容日がうだいも午一一
 紙とでちさず、後七〇
 のとおり
 しき、いれ同一日日
 設いち都内集日日
 けとら合容合
 まきかのの
 すは一良練
 。日い習
 二雨日を
 四天に行

①日

四時
 四月

すへ五
 の力平
 感月成
 覚ぶ六
 をり年
 思に度
 いマの
 出ス總
 しト帆
 てに展
 いの帆
 たぼを
 だり前
 き高に
 まさ約

必のだ練丸の驗平
 要資さ習で乗成
 な料い船に同船六
 方は教船乗封年
 は当体育度
 お財後申団乗援申
 しに船会い
 つあにに方
 つけり関おは
 くます申、動届船
 だするし直くき海
 さのそ込接ま王
 いでのみ財
 一他く王の体

一動ネ解次をき員入
 「にすりて輪 [男
 つ会ッきに整ち起れ名課
 でにト、食えんこた前レ
 すはを最事、とし障の
 なく後を審たに害通ス
 くぐは済判た始物り
 てつまのみま競
 はてゾせ確まり争毎
 なゴ、認す、で日
 ら、課を。自すの
 なルを題受次分。日
 いで着のけはの先課
 種す。込問ま身毛すを
 目(み)題すな布、取
 の運、を。りを総り

「にすりて輪 [男
 参。、甲投股の
 でにト、食えんこた前レ
 次板げの世
 すはを最事、とし障の
 なく後を審たに害通ス
 くぐは済判た始物り
 てつまのみま競
 はてゾせ確まり争毎
 なゴ、認す、で日
 ら、課を。自すの
 なルを題受次分。日
 いで着のけはの先課
 種す。込問ま身毛すを
 目(み)題すな布、取
 の運、を。りを総り

かのすつ大ワなしられ
 か動生のか部の会上こ様且練な言遠げとて練
 ごもかし運イがたれ、開?会に準れ、チーがれ々つ習生え洋ましい習
 紹のらて動航らドま開会と任備て事しでりらな、船活ば航する船
 介ば、広会路登クす催式はさ及の務ムすをの行効でに航海。この航海
 しかその'場タ。をでどれび対部と見行事果はな海中
 のま運抗そ乗こせ事を的、り当の
 よす營戦し組れるの航に実が直生
 う。はでて員はの中海実習ちに活
 な、す士の、がで中習生で明は
 もさも。官甲実、にがのすけ
 のあちこチ板習船一行行士。暮ど
 で、ろの1部生上番いえ氣それち
 しそん運ム、の大のまるをこるら
 よの実動に機各運盛す様高で単か
 う運習会分闘班動り。にめ、調と

かのすつ大ワなしられ
 か動生のか部の会上こ様且練な言遠げとて練
 ごもかし運イがたれ、開?会に準れ、チーがれ々つ習生え洋ましい習
 紹のらて動航らドま開会と任備て事しでりらな、船活ば航する船
 介ば、広会路登クす催式はさ及の務ムすをの行効でに航海。この航海
 しかその'場タ。をでどれび対部と見行事果はな海中
 のま運抗そ乗こせ事を的、り当の
 よす營戦し組れるの航に実が直生
 う。はでて員はの中海実習ちに活
 な、す士の、がで中習生で明は
 もさも。官甲実、にがのすけ
 のあちこチ板習船一行行士。暮ど
 で、ろの1部生上番いえ氣それち
 しそん運ム、の大のまるをこるら
 よの実動に機各運盛す様高で単か
 う運習会分闘班動り。にめ、調と

すすなすつ絶べき番た やスをの錐先に
 か。か。てえ洋で熱くこしの頬木型端悪狭視
 ? でいはず上しのさの立周り片のにい視
 優培ず思動でよこん他てりにを面わ状界航
 や勝われわ揺はうもあに、にコ蹴をす態と法
 はしれもぬしう。るりものはりかかのは
 りたて長番て陸種ま練針、スなぶにこ、
 ○チきい狂いり上目す習路大をがり穴と霧
 ○1た練わるでは。船を勢回ら、ので等
 ○ム種習せた行、そ独惑のりわ直あすで
 でへ目船がめつうやの特わ野まず径い競
 川しのばの起て場は中のし次すか五て技
 路よ賞か歴こ時船合りで種ま馬。なせい者
 う品り史りにはに綱も目すがコ視ンるは
 ででのまよ、比引一が。は1界チ円、端



